

設立60周年に向けて—— ダイセキのこれまで、ダイセキの

当社は2018年10月に設立60周年を迎えます。

これまでも目まぐるしく様々なことに挑んできましたが、現在も成長過程にあります。

変わりゆく時代に合わせて当社はこれからも変化し続け、

「環境創造企業グループ」として飛躍を目指していきます。

創業期

油脂精製業から、石油販売、
再生油精製事業へ



戦後、菜種油の製造に乗り出し、油脂精製業を開始。1950年(昭和25年)に朝鮮戦争が勃発し、特需による自動車産業が活性化するのに伴い、ガソリン、工作油などの石油販売業に転換。その中で、廃油を潤滑油や工作油として再生する「リサイクル製油事業」をスタートさせました。

1945

創業者 伊藤治雄が油脂精製業を創業

1958

株式会社大同石油化学工業を設立

1970～

公害の深刻化に伴い、
廃棄物処理・
リサイクル事業をスタート



経済の高度成長に伴い、公害が深刻化。当社は、産業廃棄物の再資源化(リサイクル)に着目。1971年(昭和46年)に、名古屋事業所に産業廃棄物処理工場を完成させ、廃水処理事業を開始。1972年(昭和47年)には、名古屋市で産業廃棄物処理業の許可第一号を取得し、北陸、九州、関東と事業を日本各地に展開しました。

1973

石川県白山市に北陸事業所を開設

1982

北九州市若松区に九州事業所を開設

1990～

企業のさらなる成長のために、
株式を公開



1993年(平成5年)に環境基本法が施行され、「環境」が時代のキーワードになった1990年代。環境意識のより一層の高まりを受けて事業を拡大していく中で、当社は、さらなる飛躍をめざして、1999年(平成11年)に産業廃棄物処理業界では初めて東証・名証第二部に上場を果たしました。

1990

栃木県佐野市に関東事業所を開設

1997

千葉県袖ヶ浦市に千葉事業所を開設

1998

日本海のロシア船タンカー・ナホトカ号重油流出事故の回収活動に対し、海上保安庁長官賞、海上災害防止センター長賞を受賞

「ダイセキのこれから」を話そう

“廃棄物”にはまだ大きな可能性が秘められている

当社が設立された60年前は、まだ「産業」の発展が第一で「環境」は二の次とされ、さまざまな公害や環境汚染が引き起こされました。幸せで豊かな生活を送るためには「産業」だけではなく「環境」との両立が不可欠です。

資源の少ない日本で、銅やニッケルなどの金属を海外から調達すると多くの輸送エネルギーが

必要になります。それを考えると、廃棄物はまさに宝の山です。当社の資源回収プロジェクトでは現在24種類の資源回収を実現し、さらなる品目の拡大を進めています。“廃棄物”にはまだまだ大きな可能性が秘められていると思います。「産業と環境」の両立に向けて、当社は今後も社会から信頼される、企業グループでありたいと考えています。

取締役 副社長
山本 哲也



これから

2000～

リサイクルをキーワードに、
グループ展開を加速



2000年(平成12年)に循環型社会形成推進基本法が制定、2001年(平成13年)に廃棄物の処理及び清掃に関する法律が改正され、許可のある焼却施設を除き、廃棄物の焼却は原則禁止となりました。当社は2000年に東証・名証第一部に上場しました。循環型社会の構築がますます重視されていく中、グループ展開を加速し総合的な廃棄物処理・リサイクルを進めていきました。

2000

東京証券取引所・名古屋証券取引所市場第一部に上場

2002

兵庫県明石市に関西事業所を開設

2004

株式会社ダイセキ環境エンジを株式会社ダイセキ環境ソリューションに改称
名古屋市港区に名古屋事業所リサイクルセンターを完成

2007

田村産業株式会社を子会社化(現 株式会社ダイセキMCR)

2010

システム機工株式会社の株を取得し、子会社化(東京都港区)

2011

新たに創設された「優良産業廃棄物処理業者認定制度」において、名古屋市および石川県から第1号事業者として認定を受ける

そして、 2018へ

廃棄物処理・リサイクルを中心に
総合的な環境創造企業の質を
追求

土壌汚染の問題やPCB廃棄物の期限内処理、また2017年8月には水俣条約発効(水銀の規制強化)と環境問題は多岐に及んでいます。

その中で当社は、今後もお客様や社会のニーズに応えるべく、グループ全体で事業活動を続けていきます。

2015

株式会社ダイセキMCRが宇都宮リサイクルセンターを完成

2017

愛知環境賞においてダイセキグループが名古屋市長賞を受賞

第20回環境コミュニケーション大賞において、環境報告書部門でダイセキの「CSR報告書2016」が優良賞(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)を受賞

「ダイセキのこれから」を話そう

働き方改革で従業員一人ひとりが自信と誇りを持ち続ける会社に

設立60周年ということは“還暦”を迎えるわけですが、新入社員が還暦を迎えるころは、100周年です。40年後にどうなっているかを予想することは難しいですが、大切なのは、従業員一人ひとりが業界ナンバーワンの上場企業の一員としての誇りと責任を持ち続けることです。

短期的な課題としては、働き方改革に

取り組んでいます。すべての従業員を大事にする会社であり続けることで、全員が性別や障害の有無に関係なく自信をもって仕事をし、生産性を高めていく。そうすることで、さまざまな時代の変化やお客様のさまざまなニーズにも対応できるのではないかと考えています。そのために社員研修のさらなる充実もはかっていきたいと思っています。

企画管理本部 本部長
片瀬 秀樹

